

人呼気望

題字 無声呼人 揮毫 内子教育会OB 源田 恒雄 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

ラジオ体操の勧め

元愛媛県教育研究協議会会長
伊予教育会会長



松永峰一

日本人の男性の平均寿命が八十歳を超え、女性は二年連続世界一になっていきます。国民みんなが自ら健康づくりに取り組み、毎日を元気に過ごしたいものです。

私は健康づくりのために、毎朝六時半のNHKから流れる音楽に合わせてラジオ体操をしています。朝、少し早く起きることで一日の生活リズムが整い、覚醒効果もあって一石二鳥です。毎朝たった十分間、第一と第二の体操を丁寧に強弱をつけてしっかりすることで身体が軽やかに感じられ爽快感があふれてきます。この習慣は定年退職後、愛媛県教育会に勤めるように

- (2) 学校紹介 福浦小学校
- (3) 地区教育会だより 東温市教育会
- (4) (5) 特集 心に残る歌、好きな歌
- (6) 教育会会員による学習支援①
- (7) 平成27年度収支予算
- (8) 短歌・川柳等募集等

なつたとき、午後三時になると広場に愛教研の先生が携帯ラジオを持って三々五々集まり、ラジオ体操をするのが日課となつたことに始まります。教育会を退職してもその習慣が続き、現在に至っています。

ご存じの通りラジオ体操は、国民の体力向上と健康の保持や増進を目的としてできたもので、老若男女を問わず誰でもどこでも気軽にできる体操です。背伸びの運動から始まって、腕や体を回す運動などをして十三番目の深呼吸で終わります。ピアノの伴奏は指揮者の号令のかけ方によって日によって若干異なり

ますが、音楽があるので自然と体が動き、無理なくできる構成になっています。この体操は約四百種類あると言われる体の筋肉をくまなく動かし血行をよくし、体をもとの健全な状態に戻す働きをするもので、継続することで効果が発揮されます。ただ筋肉は三日休むと元に戻ってしまいうらしいので、毎日することが望ましいことですが、それが難しい場合は三日以内にもう一度継続することが大切です。

日本の夏の風物詩でもある夏期巡回ラジオ体操も今年も西予市野村町で八月末日に開催が予定されています。運動不足の皆様、生活習慣病を予防するためにもラジオ体操を始めてみませんか。運動を習慣づけることで健康な体を保ち、健康長寿を図りましょう。

一略 歴一 (まつなが・みねかず)

- 昭和42年 愛媛大学教育学部卒業
- 平成2年 松前町立北伊予中教頭
- 平成5年 松山教育事務所
- 平成9年 砥部町立砥部小学校長
- 平成14年 愛教研教学委員会委員長
- 平成15年 愛媛県教育研究協議会 会長
- 平成17年 松山市立東中学校 退職
- 平成17年 愛媛県教育会事務局
- 平成26年 伊予教育会会長

聞びょう響

染織家志村ふくみさんが京都岡崎に設立した「アルスシムラ」という学校があるという。染織を通して魂の教育をした

魂の教育とはどのような教育なのか。生計を成り立たせるための教育でもなければ、文化を伝承するための教育でもない。志村さんは「現代の閉塞された時代の中で、物づくりを通して一筋の光のような仕事をやる人を育てたい」と言う▼かつて物づくりの世界では、あたたかも対象物に自らの魂を注入しきることがとき匠がいた。対価としての名声や冥利を得ることなど求めず、ひたすら自らの道に精進した先人がいた。いや現在も様々な生産の現場で確かな社会を支える人々がいる▼トマ・ピケティの研究が注目されているが、資産効果による経済的不平等が地道な労働や生産を阻害するようなことにならないようにするにはならない▼人間が人間らしく人や物に向き合い自らの在り様を確認できたり、より良い方向に成長させたりすることができるようになる魂の教育に期待したい。

ひとこと

脚下照顧



愛媛県教育研究協議会 副会長

西宮 勉

本校の各階のトイレには、「脚下照顧」という文字板が掲示されている。昭和六十一年頃、本校五代校長「河野博徳」先生の時に設置されたものだ。

「自分の心が乱れていないか、スリッパを並べることで確認する。」「次の人が使いやすいように、気持ちよくトイレを使ってもらうために並べろ。」そうすることで、「自分の優しい心、奉仕の心を育てていく。」このような願いが込められている。

この話を、昨年の一学期始業式で紹介した。その後、五月に学級委員会が中心となって、スリッパチェックの活動が行われた。そして、「完璧な並びには、並べた人の

「心」が見える。」と訴えた教頭先生の言葉に、生徒たちは、ただスリッパを並べるだけの活動でなく、より美しく求めてスリッパを並べるように変わっていった。

今日も、整然と並んでいるスリッパの向こうには「脚下照顧」の文字が見える。「常に足下を見よ!」「毎日の生活の中で、自分自身の動きをしつかりと見つめよ!」というこの言葉が、保中生の心の内に響いている。

「たかがスリッパ、されどスリッパ。」教育の原点が見えてくる。

（八幡浜市立保内中学校長）



学校紹介

No.160

愛南町立福浦小学校

自分の命は自分で守る

本校は、児童数十五名（平成二十六年年度）の愛南町で一番小さな学校です。「一人一人十五のやる気」を合言葉として、日々の教育活動に取り組んでいます。その中でも特に、防災教育に三年前から力を入れていきます。

今後三十年の間に発生するであろうとされている南海トラフ巨大地震が起きた場合、本校の福浦地域には、地震発生から三十分後に十一・五メートルの津波が到達すると想定されています。そこで、海が目の前にある福浦小学校では、学習や避難訓練を通して自分で判断し、行動に移すことができる力を児童一人一人に身に付けさせたいと防災教育に取り組んでいます。「自分の命は自分で守る」ことができる児童の育成を目指した取組を紹介します。

毎月十一日を「いのちの日」とし、防災学習会や避難

訓練を実施しています。避難訓練では、いろいろな場面を想定し、未告知で行っています。児童は、避難する際周囲の安全を確認しながら互いに声をかけ合ったり、下級生の手を引いたりして、校舎裏高台の避難場所へ素早く避難します。校外で地震・津波が発生したらどの道を通ってどこへ避難したらよいか、登下校時の避難訓練で確認しています。時には、参観日や学習発表会で来校している保護者や地域の方も訓練に参加します。毎回の訓練に真剣に取り組む児童の姿は、「本気の訓練



県警・海上保安庁との合同避難訓練

練」と新聞に取り上げられたほどです。

次に、教育課程の中に防災マップ作りを位置付け、地域探索を通して気付いたことや危険箇所などを地図に書き込む活動に取り組んでいます。地域に向いて学習することで、より地域を知ることができた児童は、高齢者が安全に高台へ避難するための避難ルートを考えたり、地元の水産会社の社員に「避難サポーター」をお願いしたりと、自分の命だけでなく地域に住む高齢者の命も守ることを考える「共助」の心も育っています。

本校児童のこのような活動は、地域住民の防災に対する関心や意識を高め、大きな地域貢献となっています。自分の命は自分で守り、そして周囲の人も大切にす防災教育をこれからも推進し、優しくそして、強くたくましい心をもった福浦つ子を育てていきたいと思えます。

（教頭 北原 美紀）

題字に寄せて

こえなくしてひとをよぶ
無^レ声呼^レ人



内子教育会 OB
源田 恒雄

私の義父、旧河辺村の故本龍賢宗老師（一筆観音経書写で元県無形文化財保持者）から戴いた書にある字句である。諺で出典は知らない。人徳のある人の周りには、自然に人がより集まってくるものがあるという意味のようだ。同意の成句に、「桃李不言下自成蹊」（史記）がある。今の社会は「声の高い者が勝つ」ような風潮がある。ホテルや旅館など「いらつしやいませ」と言うだけでなく、再度来てもらうためには、無言の料理の味、従業員の接客の仕方やサービスが人を呼ぶことにつながると思う。声を出さない「持て成し」こそ日本人の心だと言いたいものだ。

地区教育会
だより

東温市教育会

合同研修会
並びに祝賀会

東温市教育会事務局長

片岡 章

東温市教育会は約三百名の会員で活動しています。主年年間行事として、囲碁大会、趣味の講座、合同研修会・祝賀会等の事業を行っています。合同研修会・祝賀会は、毎年夏に行われる愛教研東温支部との合同事業です。今年度は、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所専門官仙波宏光先生をお迎えして、「重信川流域の自然」と題して講演をしていただきました。重信川で起こる瀬切れや足立重信の功績、長年にわたる治水対策、濁水対策等について教えていただきました。



合同研修会の様子

この会で初めてお会いするOBの方、年に何度かお会いするOBの方等様々ですが、各分野で元気に活躍なさっている姿を拝見することができ、とてもうれしくなりました。参加者全員が笑顔で歓談し、会員相互の親睦を深めることができた祝賀会でした。



祝賀会の様子

重信川流域の自然を守ることの大切さを再認識するとともに、子どもたちに引き継いでいく責任を感じました。午後から傘寿をお祝いする祝賀会を催しました。今年度傘寿を迎えられる十名のうち、五名の方が出席されました。ご来賓として、市長、副市長、県議会議員、市教育長にご臨席いただき、OB会員、現職会員合わせて総勢五十四名で傘寿のお祝いをすることができました。

ローカルトピックス

下柏の大柏(イブキ)

四国中央市の下柏町には、大正十三年に国の天然記念物に指定された「下柏の大柏(イブキ)」があります。この木は、樹齡千二百年以上と言われ、根回り約十四m、樹高約十五mの巨木で、イブキは生長が遅く、この様な大樹になるのは、極めてまれであり、風の強い平地に独立し長寿を保っていることは、まさに奇跡に近いことだそうです。

私が子どもの頃には、この木のことを「柏の木」と呼んでいました。

四国中央市立松柏小学校の「松柏」という名前は、「上柏」「下柏」「村松」の旧三か村が合併して明治二十二年に「松柏村」となった地名です。この旧村の「上柏」「下柏」の地名は、この巨木に由来しており、この辺りのことを「柏」とも言っています。四国中央市に來られた際は、伊予三島の国道十一号バ

イパス通りの右手にありますので、来訪してみてください。



文教月報編集協力委員
四国中央教育会OB 守屋 均

小磯良平展

平成27年4月22日(水) - 6月21日(日)

大野ギャラリー所蔵と当館所蔵の油彩・素描・版画約40点を展示

同時開催 「セキ美術館の名品展」2階新館
「ロダン作品展」2階ロダンの部屋

■入館料 前売り(一般・大学生のみ) 700円
一般(大学生含む) 800円 小・中・高校生 500円

セキ美術館 〒790-0648 松山市道後喜多町4-42
TEL (089) 946-5678



化粧する舞妓 1958年 油彩

■観覧日 水曜日・日曜日及び休日
午前10時～午後5時
※休館日 月・火曜日(祝日は別定)
※駐車場 敷(12台)

特集 心に残る歌・好きな歌

心に残る歌



新居浜教育会
OB
久保 弥生

長年音楽に携わっています
が、「何か心に残る歌は？」
と聞かれても、「これだー」
と一曲を挙げることはなかな
か難しいです。しかし、その
時々の思い出に残っている曲
はたくさんあります。
その一つが「牧場の朝」で
す。六年生の学芸会で独唱を
させていただき、私が音楽の
道へ進むきっかけとなった曲
です。当時は体育館がなく、
現在の自治会館となっていた
会場で歌いました。昔はとて
も広く感じましたが、今その
場に立つと、狭くて舞台も小
さいのですが、私にとっては
忘れることのできない神聖な
場所です。緊張して声が震え
て歌ったことを今でもしっか
りと覚えています。

教職に就いてからはいつそ
う歌う機会に恵まれました。

合唱部を担当し、初めて県大
会に出場できた時の感動は昨
日のように思い出します。自
作曲は「月とうさぎ」でした。
合唱レベルの高いこの地区
で、県大会に出場することは
至難の業でした。夢の舞台上に
立ちアツという間に演奏が終
わった気がします。それから
は合唱三昧です。

現在は市内の混声合唱団に
所属し楽しんで歌っています
。「水のいのち」という曲
とのすばらしい出会いがあ
り、イタリアのバチカンで歌
う機会も得ました。

歌が歌えるということは幸
せなことです。音楽のおかげ
で多くの方々との出会いもあ
りました。これからも音楽と
共に年を重ねたいと思ってい
ます。



姉からの応援歌



四国中央教育会
OB
鈴木 孝子

私には、二歳年上の姉との
忘れられない思い出の歌があ
る。小学生のある日の放課後
音楽室で合唱コンクール出場
メンバー選抜の歌のテストが
あった。姉と一緒に順番を待
ち、いよいよ私の番がやって
きた。歌が大好きな私は、小
さな胸を躍らせながら精いつ
ぱい歌った。合否の判定はそ
の場で行われた。姉は合格
だったが私は不合格であつ
た。

どのようにして家へ帰った
かも覚えていない程のショッ
クで、しばらく呆然としてい
た。後から家へ帰って来た姉
が、部屋の片隅でしょげてい
た私に、「姉ちゃんは孝ちゃ
んの歌は曲によく合っていた
と思うよ」と優しく声を掛け
てくれた。その姉の何気ない
一言で、急に目の前が明るく
なり心の霧がすーっと晴れる
ような気がした。

その歌は、我々年代にはな
つかしいお馴染みの童謡唱歌
「村祭」である。「村の鎮守
の神さまの♪」秋祭りが近
づき、どこからか笛太鼓の音
が聞こえる時期になると、ふ
とこの歌を思い出す。決して
嫌な思い出としてはよみがえ
らない。むしろ、私が、力強
く生きていくことができる歌
として思い起こされる。

戦後生まれの私と姉は何を
するのもしつとも一緒であつ
た。そして、姉は、よく私の
側で励ましの言葉をかけてく
れた。「村祭」はまさに姉か
ら私への応援歌であり、私の
心を支える大切な歌である。
その姉も早いもので、来年
十三回忌を迎える。

素鷲小学校 校歌



素鷲小
山教頭
野本 通広

縁あって、平成二十六年
から素鷲小学校で勤務させて
いただいています。今年度は
開校から百二十六年目になり

ます。歴史ある学校で多くの
卒業生が巣立っていった学び
舎も、姿を変えて現在に至つ
ています。ところが、永く変
わらずに残っているものがあ
ります。「校歌」です。県内
の多くの学校は、昭和三十年
代に校歌が誕生しています
が、本校は、昭和十二年九月
二十四日に制定されていま
す。驚くべきは、その歴史だ
けではなく、作詞者・作曲者
も日本の音楽史に名を連ねる
方であることです。作詞は、
林古溪先生、作曲は、平井康
三郎先生です。日本を代表す
るようなお二人の先生に作っ
ていただいた校歌は、今もな
お、素鷲の子どもたちに歌い
継がれています。林先生は、
「浜辺の歌」が特に有名で
す。平井先生は、「お江戸日本
橋」や「ゆりかご」「スキー」な
ど数多くの作曲をしました。
校歌は、昭和十二年、当時の
校長先生が、松山高等学校の
林先生に依頼し、林先生が、
東京音楽学校の平井先生に作
曲をお願いして誕生したもの
だと記録に残っています。
ホームページに楽譜も掲載
していますのでご覧ください。

松山市立素鷲小学校 校歌

素鷲の子 力合わせ
 おこない 日々にはげむ
 城は松山 仰ぎみては
 わが父母おもう
 うやまわん

素鷲の子 心合わせ
 よき国 守りなさん
 清き石手の 誠あらば
 名よ いさおよとわに
 つさざらん

童謡「ふるさと」に
思いを寄せて



伊予教育会
OB
笹田 要

「見も聞きも涙ぐまれ帰る
にも、心ぞ残る」と謝のふるさと
と」(与謝野礼蔵の句) 望郷

の句に、幼き頃の戦後のふる
さとが懐かしく蘇える。釣り
や泳ぎを楽しんだ小さな川、
甘い野いちごを探して駆けめ
ぐった山々、仲間とたわむれ
た満開のれんげ畑。真夏の盆
の日、柿の木に登って食べた
薄い塩味の飯ごうめし。共に
遊んだ幼な友達の顔。すべて
が懐かしい。今はどこでどう
しているだろうか。

「兎追いしかの山 小鮎釣
りしかの川 夢は今もめぐり
て忘れがたき故郷」。まさに私
の幼い頃の心のふる里そのも
の、望郷のメロディが大好き。
教室や朝会、離任式等の場
で唄った「ふるさと」。きれ
いな心地よい皆さんの歌声に
酔いながらハーモニカで伴奏
した。社会教育の仕事に携わ
る中、各地、各団体が催す研

祝 受章・受賞おめでとうございます

- ◇瑞宝双光章 (春の叙勲)
 保手浜勝彦様 70歳 元松山市立勝山中学校校長 砥部町
 榊田嘉津雄様 71歳 元四国中央市立三島小学校校長 四国中央市
 高橋 篤世様 70歳 元四国中央市立金生第一小学校校長 香川県
- ◇瑞宝双光章 (高齢者叙勲)
 佐々木喜多男様 88歳 元八幡浜市立大島中学校校長 八幡浜市

修会や講演会、また人権教育
地区懇等の開会前の一時にも
唄った。「里の秋」「みかんの
花咲く丘」「赤とんぼ」など、
唄は時節によって様々。伴奏
用のハーモニカは持ち運びも
よく音色も美しい。堅苦しい
会も童謡を唄うことで場が和
む。講話の前にはリラックス
も出来た。

毎週月曜日「BS日本・こ
ころの歌」で流れる思い出の
曲は懐かしく欠かさず視聴。
「空にさえずる鳥の声、峯
より落つる滝の音」で始まる
「天然の美」など様々な名
曲。軽快なピアノに乗せて熱
唱するフォレストの美しいハ
ーモニカにはいつも心が癒や
される。カラオケは心の糧、童
謡は私の心のふる里である。

私の好きな歌



宇和島中
南等教育
教諭
吉川 晋

いきなりですが、みなさん
はストレス発散にどのような
ことをしていますか。私の場

合、気の合う仲間と子どもた
ちの話題を酒の肴にして楽し
く飲み、盛り上がった勢いで
カラオケに突入することです。
特に行事後の打ち上げで
は、達成感と解放感のダブル
の効果でテンションはマツク
ス。仕事への思いが詰まって
いけばいるほど、打ち上げも
充実したものになります。

そして、ハイテンションで
臨むカラオケでは、自分が歌
うというよりも「歌ってもら
う」ライブ型です。アラフォ
ー世代となった今、新譜より
も旧譜の方が体に染みついて
います。学生時代だった八〇
年代から九〇年代の曲、アイ
ドルからロックまでとにかく
ノリのいいものを自然にチョ
イスしては、強引にリクエス
トします。幸い、これまでの
勤務校ではジェネレーション
ギャップが少なく、毎回自分
のわがままに添えていただい
てきました。

「オー、フレンズ」「ドン、
ストップ、マイ、ラブブー」
などと、大学生のように大合
唱したときにはたまらない爽
快感です。誰にでもあった青
春時代。見た目は変わっても

心はあの日のままのような気
がします。「経験に勝るもの
はない」とよく先輩方から言
われてきましたが、忘れては
いけない昔の「情熱」も大切に
していきたいと思えます。す
べては子どもたちのために。



俳画・水墨画教室
和田 桂子 作

トロフィーカップ四国総代理店 W/M



〒791-1102 愛媛県松山市来住町 1387-3
TEL.(089)975-8665 FAX.(089)976-3893

www.e-kisyou.com

教育会会員による 学習支援 その①

八年目のスタート 「新居浜土曜寺子屋教室」

新居浜教育会

会長 横山 泰茂

一 概要

子どもたちの健全な成育を願って経験豊かな新居浜教育会会員の教育愛にもとづく知恵と創意を生かしたボランティア活動です。「新居浜土曜寺子屋」(以下「寺子屋」)が正式名称です。「寺子屋」は平成二十年度からの新企画で出発しました。今年度は八年目を迎え、第一土曜(四月四日)に習字、読書、絵手紙の三教室がトップを切つてスタートしました。今では、社会のニーズの一端を担い徐々に子ども、保護者、地域の皆様の理解も深まり、評価も高まってきました。「礼を正し、場を清め、時を守る」のスロガンのもと会員が講師(指導者)となり、授業料・講師料など無償の活動を継続して

います。「寺子屋」には十教室(囲碁、歌声、算数、俳句、絵手紙、書道、篠笛、茶道、新居浜学、読書)があります。年間を通じて毎週土曜日の午前中に活動をしています。



二 目的

未来にたくましく生きる子どもたちの能力や才能を磨き心身ともに健全な成長を願い教職の道を長く生きてきた元教師としてのノウハウを生かし、ささやかな一歩であるが奉仕者としての自負と誇りをもって「寺子屋」での教育活動を推進し、広く地域社会の信託に応えること。

三 時間割と講師数など

	教育会館 1階談話室	教育会館 1階和室	教育会館 2階会議室	教育会館 2階研究室	教育会館 公民館
第1土		読書20③	習字24②	絵手紙10②	
2	囲碁19②	算数18②			
3	囲碁19②			新居浜学7③	茶道38②
4		篠笛5①	歌声15①	俳句18③	
5	緑替・補充教室				

*教室名は略称
*数字は児童数 ○数字は講師数
*2月に募集(各小学校へ募集要項配布)
*3月20日頃(年度内)に人数を調整し受講者決定通知(各小学校へ)

四 年間活動(二十七年度)

月	活動内容
4	第1土曜 寺子屋スタート(4日)
6	講師定例会・活動状況など情報交換(30日)
9	「えひめ教育の日」協賛イベントの計画
11	「えひめ教育の日」協賛イベント「親子清掃隊」(1日) 「成果発表会」(29日)
12	修了文集作成スタート・受講生へ原稿依頼 講師定例会・発表会反省
2	講師定例会・次年度募集 文集編集
3	次年度受講者決定通知発送 文集発行配布

教室の他に「えひめ教育の日」協賛の新居浜会場イベント(成果発表会と親子清掃隊やエコクリーン)や講師陣の定例会など主な活動は次の通りです。

五 成果と課題

(一) 成果

①修了生から「アメリカでポイント」の便り、「NHK俳句キッズ県大会」で二年連続一位など世界で県下で活躍する知識・技能・意欲が高まっている。

②毎年各教室が定員一杯で「寺子屋」への興味関心・向学心が一段と高まっている。

③協賛イベントには、毎年保護者を含め延べ三百人を超える参加者があり、地域社会の理解度も高まりを見せている。

(二) 課題

①講師の高齢化にともなう後継者の確保
②教材費 備品協賛イベント費 など約三十万円の予算確保などの成果や課題があまり

すが、子どもたちの学びへのモチベーションがある限り、新居浜教育会会員の英知を結集し、子どもたちの健全な成育を夢見ながら、継続を期しているところです。



受講した子どもからの手紙

教育積立預金「愛情」 お子さまの成長に合わせて金利も成長！ お子さまの未来のために積立をはじめませんか？

—「愛情」の3つのポイント!!—

- ステップアップ金利** おまとめ日を経過する毎に金利を段階的に上昇
- 教育ローンの金利がお得** 教育ローン金利が店頭表示利率から引き下げ
- 入学一時金受取システム** ご希望により一時金として一部お引き出し可能

オリジナルフォト選取をお作りします。 ※写真はイメージです。

●詳しい内容・お問い合わせはお近くの(いよぎん)の窓口または
いよぎんテレホンセンター ☎0120-64-1414
受付時間/9:00~20:00(銀行休業日は除きます)

Challenge & Smile
伊予銀行
(平成27年2月1日現在)

平成27年度収支予算 決定

平成27年2月2日開催の評議員会において、標記予算案（一般正味財産）が承認されましたので報告します。

平成27年度収支予算書（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

経常収益

詳しくは、愛媛県教育会ホームページをご覧ください。

Table with 5 columns: 科目, 目, 当年度予算額, 前年度予算額, 増減. Rows include 基本財産運用益, 特定資産受取利息, 受取入金, 事業収益, 受取寄付金, 雑収益, 経常収益 計.

経常費用

Table with 7 columns: 科目, 目, 当年度予算額 (事業費, 管理費), 前年度予算額 (事業費, 管理費), 増減 (事業費, 管理費). Rows include 役員報酬, 給料手当, 臨時雇賃金等, 退職給付費用, 福利厚生費, 旅費交通費, 通信運搬費, 減価償却費, 消耗品費, 修繕費, 印刷製本費, 光熱水料費, 賃借料, 保険料, 租税公課, 支払負担金, 支払助成金, 支払寄付金, 委託費, 慶弔禍福費, 著作権等使用料, 諸謝金, 広告料, 会議費, 支払利息, 渉外費, 報償費, 使用料, 雑費, 小計, 経常費用 計, 当期一般正味財産増減額.

補聴器 取扱いのご案内 学校生協

組合員様のご家族で、耳の悩みをかかえていらっしゃる方はいませんか？ 学校生協ではメーカーがご自宅までお伺いし、聞こえの具合を測定してお客様の耳にあった補聴器をご提案します。店舗まで出向く不安もなく、安心してご相談いただけます。

提携会社 シンコム(株)

取扱メーカー オーティコン ジーエスサウンド シーメンス スターキー

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会 電話 (089) 925-0555 または 郡市学校生活協同組合

いよつ高鳥屋 ロースカードご入会のおすすめ 学校生協

商品（特別奉仕品・生鮮食品等の割引対象商品を除く）を5%引きで購入いただけます。

売場奉仕品、優待会、カタログ、通販販売の商品は2%引きのお支払（一般カードは割引なし）。

お中元・お歳暮の期間中、「外商常得意様承りコーナー」にて推奨品に限り推奨価格（10%引き）で購入できます。

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会 電話 (089) 925-0555 または 郡市学校生活協同組合

ふるさとスケッチ

No.379

白浜小の
カイツカイブキ



八幡浜教育会
OB

二宮 一成

毎朝出勤すると、子どもたちと挨拶を交わしながらカイツカイブキの並木を歩きます。大きくうねりながら天に向かって勢よく伸びようとする枝葉が、私には白浜っ子そのものに映ります。時々、生い茂った枝葉



の中から鳩が飛び出してきます。よく見ると巣があつて子育てをしているようです。きつと、カイツカイブキのよきな勢いのある小鳩が育つことでしょう。
白浜小で二年間、この並木道を歩きました。私も勢いをもたらして、新たな人生を踏み出すことができました。

ご冥福をお祈りします

清水	清子様	81歳	松山市平井町三三〇	27.1.26
有光	節子様	90歳	新居浜市土橋一〇二	27.2.8
二宮	春子様	78歳	八幡浜市日土町二一五	27.3.14
安原	宏様	84歳	四国中央市金生町山田井三九六	27.4.3
白石	純士様	78歳	今治市南日吉町二三五	27.4.5
布井	平一様	87歳	八幡浜市保内町川之石三三三	27.4.6
齊藤	光様	92歳	松山市萱町四丁目二六	27.4.10
友澤	敏男様	83歳	伊予郡松前町神崎四八三	27.4.11
片野	栄様	89歳	今治市波止浜二二〇	27.4.19
久保	義幸様	84歳	大洲市徳森三三二七	27.4.21
河野	初美様	89歳	今治市北日吉町二六五	27.4.21
高田	澄様	84歳	宇和島市明倫町五六六	27.4.23
岡本	晴子様	87歳	今治市南高下町三四四	27.4.26
平家マサミ様		90歳	八幡浜市保内町宮内一三六	27.4.28
袋瀬キヨミ様		86歳	八幡浜市川上町川名津甲三二八	27.4.29

お知らせ

◆第67回日本連合教育会
研究大会―富山大会―
(概要)

【期日】

平成二十七年八月二十日

(木)～二十一日(金)

【会場】富山県民会館 他

【大会主題】

「人間性豊かで創造性に富み、たくましく生き抜く日本人の育成」

【分科会】

- ①教育課程
- ②学校・学年運営
- ③学習指導
- ④道徳教育
- ⑤生徒指導
- ⑥健康安全教育
- ⑦人権教育
- ⑧幼児教育

愛媛県教育会 短歌・川柳・自由律俳句募集

一 募集期間

平成二十七年六月一日(月)～平成二十八年一月二十六日(火)

二 応募資格 県内在住者

三 応募方法

◇ 短歌・川柳・自由律俳句のどの部とも、一人一首(一句)であること。

◇ 郵便はがきで左記へ。各部に応募の場合、一枚のはがきに連記してよい。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のこと。(FAX、メールで送付も可)

《宛先》 千七九〇一八五四五

松山市祝谷町一丁目五二二

愛媛県教育会 教育・文化振興部

四 発表 表 『文教月報』三月号及びホームページ

◆教育講演会の御案内

- ⑨特別支援教育
- ⑩学校・家庭・地域社会の連携
- 【本県の発表】
- 第七分科会で今治市立日高小学校が発表示定
- 【記念講演】八月二十一日
- 講師 高志の国文学館 館長 中西 進氏
- 演題 「ことばという美しい存在証明」

例年、地区教育会代表者会に併せて実施している「愛媛県教育会教育講演会」を次のとおり実施します。地区代表者以外も、会員の皆様は無料で参加できます。ご希望の方は県教育会事務局までご連絡

ください。

一日時 平成二十七年六月二日

午後二時から

二場所 文教会館大ホール

三講師 水谷もりひと氏

著書：『日本一心を揺るがす新聞の社説』他

演題：「取材の現場から」

「心を揺るがすいい出逢い・いい話」

訂正

五月号でお知らせした行事予定を諸般の都合で一部変更します。

・評議員会(6/2)

・地区教育会会長会代表者研修会(6/2)

・地区事務局長会(6/19)

エスポワール文教会館

★研修会・会議に ★慰労会や打ち上げに
★宿泊も便利で廉価です

夏季休業中の子どものための

合宿や宿泊訓練に

小学生(1,500円)

中学生(1,800円)

ご家族、ご友人と 当館を起点に道後観光に
お申込みは、(089)945-8644

